



第二五四回北斗句会（令和六年七月三日）

五十音順 特選は石田きよし選

中禅寺湖面に叩くや蟬の声 大崎石州

特 相性と言へば雨水と四葩かな 太田黒幸風

故郷やあの日の空に遠花火 大森康正

夏の日の声なき声や都知事選 川崎きょう

特 読みかけてこきぶり叩く新聞紙 竹内雲泉

耳底に神の誘ふ祭笛 田中資凡

終戦日間近に逝きし兄の笑み 長池豆陽

特 をちこちに大漁旗立つ夏遍路 藤田紀潮



夏蝶や余生に要らぬ敵味方 石田きよし